

# 飲食店の営業実態調査に基づく企業のつながりに関する研究

－新潟県上越市高田地区を対象として－

## 上越市の概要

新潟県の南西部に位置している自然豊かな地方都市

人口 189,511 人  
世帯数 764,28 世帯  
人口密度 194.58 人/km<sup>2</sup>

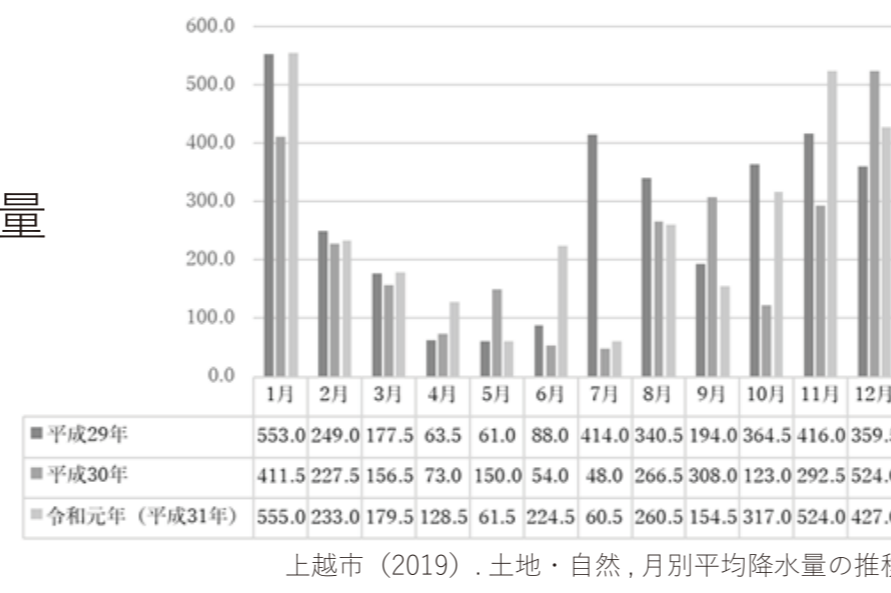


県内人口 第3位

2021年1月  
高田地区最大降雪量

240cm 超え

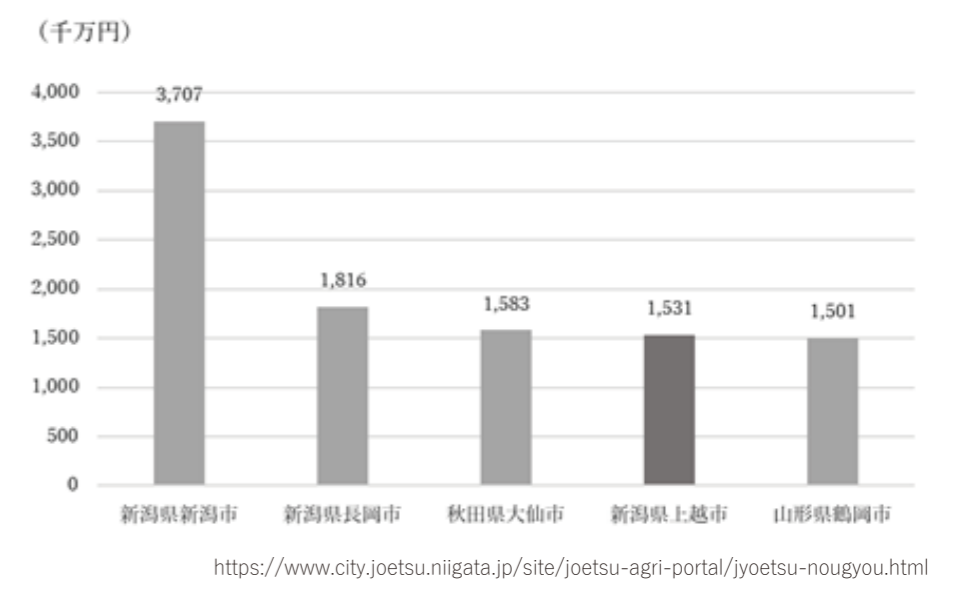
1年を通して曇りの日が多い  
冬季は降水量が最も多くなる



7年連続「特A」評価のお米

お米の生産量

全国 第4位



## 研究背景

上越市の中心市街地の1つである新潟県上越市高田地区



中心市街地の衰退化

大型商業施設の撤退  
集客機能の低下  
来街者の減少



周辺地域への集客の偏在化

都市開発が進む地域への客足が増加



新型コロナウイルス感染症  
流行による影響を懸念

倒産・閉店企業の増加

今後、更なる衰退化を危惧。この状況を防ぐ知見を得たい…

新型コロナウイルス感染症による倒産・閉店件数

	飲食店	宿泊施設	洋品店	食料品	娯楽	合計
高田地区	2	1	1			4
直江津地区	2					2
春日山地区	1					1
その他	1	1		1	1	4
合計	6	2	1	1	1	11

参考：上越タウンジャーナル <https://www.joetsutj.com/>

数字で見ると高田の倒産・閉店件数は  
少ないのでは？

## 事前調査

プレインタビュー調査 (n = 11)

対象者：高田地区本町商店街飲食店  
実施方法：対面式・店舗利用の際の会話  
調査項目：高田のまちの実態について  
コロナ禍の営業実態について

コロナによる影響を受けているのでは…?

① 営業に困っていない実態



新店舗を持つお店がある  
売上げに変化の無いお店がある

② 店同士の連携



互いの店の営業実態に詳しい  
他店をおすすめする店主

② 様々な組織・団体の存在



飲食系や観光系など  
地域内に複数組織・団体がある

## 目的

飲食店を対象としたインタビュー調査に基づき「店舗・企業のつながりの実態と機能・効果」の解明

中心市街地のまちづくりの可能性

## 仮説 I

定期的なまちづくりに関する話し合いを  
実施している

## 仮説 II

協働イベントが企画・実施されている

## 仮説 III

雁木・町家による町並みの関係性がある

## 理由

厳しい状況下を乗り越えている背景には  
「協力し合う関係性=良いつながり」が店舗・企業間にあると考えられる

## 研究方法

インタビュー調査 (n=14)

対象：高田地区本町商店街飲食店 (n=10)  
企業・組織・団体関係者 (n=4)  
実施方法：対面式・店舗利用の際の会話  
調査項目：高田のまちの実態について  
コロナ禍の営業実態について

会話記録の分析

分析 I

①組織・企業のつながり  
②地域のつながり

分析 II

③商店街と他の地域による比較

つながりの実態を分類

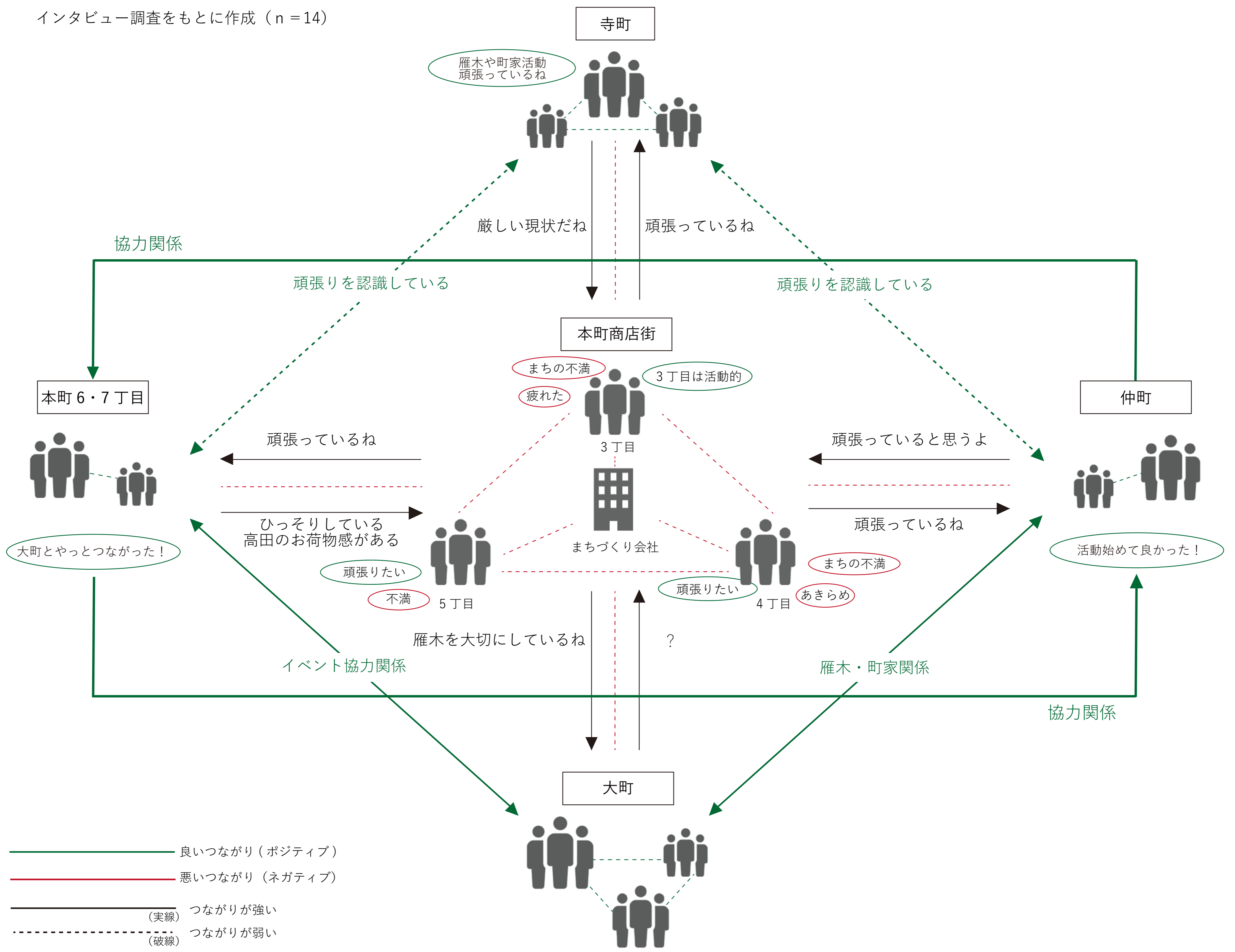
①商店街の町内 ②商店街の町内間  
③商店街とまちづくり会社  
本町 6・7 丁目  
仲町  
大町  
寺町  
④本町商店街

「良い点」「悪い点」の抽出



# 結果

インタビュー調査をもとに作成 (n=14)



## 検証 I

各地域で実施している

しかし

本町商店街 町内ごとに差がある  
組合不参加者がいる

## 考察 I

- 昔は町内別に活動していた為、商店街を組織化したけどまとまっていないではないか。
- 新規は組合に入りづらい・既存は不満を抱き数名脱退話し合いに全員が参加していない。

## 検証 II

仲町  
大町  
本町6・7丁目 企画・実施している

寺町  
本町商店街 企画・実施をしていない

## 考察 II

- 寺町は他の地域との距離が遠い為、互いの活動を認識し合うが協働には至らない。
- 商店街は独自のイベントで精一杯商店街関連の者は協働が難しいのではないか。

## 検証 III

仲町  
寺町  
大町  
本町6・7丁目 関係性がある

本町商店街 関係性がない

## 考察 III

- 本町商店街は歴史が長く古さはあるが、雁木を近代的なアーケードにしたことで古い街並みとして周囲と関係性を持つことが難しいと考えられる。

## 結論

高田地区が衰退化における来街者の減少や集客機能が低下する中で新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) により飲食店や企業の倒産・閉店が懸念される厳しい状況下を乗り越えている背景には、「協力し合う関係 = 良いつながり」が店舗・企業間にあるのではないかと考えたが、本研究により「高田地区において本町商店街は『良いつながり』を築けていない・もしくは弱い」実態が明らかとなった。

## 提案

高田地区の厳しい状況を防ぐには本町商店街が「良いつながり」を築く必要があるのでは…

本町商店街の人々が「一度に集う場」を定期的で開催すべき

「一度に集う場」とは…町内別や特定の人達だけではなく商店街の1人1人が集い意見交換をする話し合いの場

この機会を積み重ねることで「良いつながり」が築かれ今後、厳しい状況を防ぐことに効果があると考え